

重要文化財
いこみやまんだら
生駒宮曼荼羅
奈良国立博物館所蔵
絹本着色
縦105.3cm 横41.9cm
鎌倉時代(13~14世紀)

名品展の
みどころ

重要文化財
ほけきょう
法華経(色紙経)
奈良国立博物館所蔵
色紙(斐紙) 墨書
縦24.8cm 長764.3~1078.5cm
平安時代(12世紀)

神社の景観を礼拝対象として描く画像を宮曼荼羅といい、文献上では平安時代末期(12世紀)から制作されたといわれるが、現存作例としては鎌倉時代以降に数多くの優品が残されている。まさにこの宮曼荼羅隆盛の時代に描かれたと考えられる本図は、古来神山と仰がれた生駒山の東麓に位置する生駒神社(往馬大社、奈良県生駒市)の神域を描く数少ない遺例として大変貴重なものである。



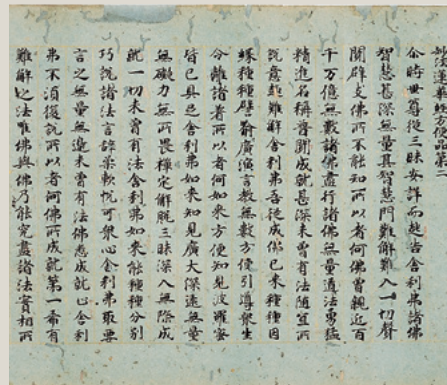
画面は、上方のなだらかな稜線をもち生駒山を背後にして、その手前に生駒神社の景観を俯瞰した視点で描いている。中央の堀と垣で囲まれたところに伊古麻都比古・伊古麻都比売と八幡

の神々を祀る春日造の七つの社殿が立ち並んでおり、その上方に浮かぶ七つの円相内には、各殿に祀られる祭神の本地仏(神々の本来の姿とされる仏菩薩)が描かれる。神仏習合が進んだ生駒神社の信仰を具体的に示すものといえよう。

目を上方に転じると、浜辺に建つ社殿から随身とともに雲に乗って生駒山の山頂に飛来する神が描かれていることに気付く。この神については、住吉神や八幡神とする説がある一方、生馬八幡宮略縁起には敦賀の気比神とする伝承が記されるなど、まだまだ謎が多い。今回の名品展では、生馬八幡宮略縁起や生駒八幡大菩薩絵縁起、本図を室町時代に写したとされる生駒宮曼荼羅など、生駒信仰を物語る往馬大社伝来の品々も同時に展示されるので、ぜひともこの機会に謎解きをしながら生駒山に祀られる神々に思いを馳せていただきたい。

谷口 耕生(当館学芸部保存修理指導室長)

◆西新館 名品展「珠玉の仏教美術」にて、12月27日から1月22日まで展示



1巻ごとに料紙の色を変え書写した法華経で、8巻が完存する。巻第一は淡青、巻第三は淡緑、巻第七は淡紫といったように、微妙な色合いの美しい料紙の上に金銀箔が散らされ、

界線は金泥で引かれている。各巻で色を変えるという凝った趣向でありながら、色味は上品におさええてあるところに、発願者の美意識がうかがえる。

色紙を用いた写経、界線や経文を金銀泥で書く写経の例は奈良時代から見られるが、平安時代にはさらに工夫を凝らした経巻が制作されるようになった。料紙に金銀箔や野毛・砂子などの装飾を加えたものや、見返や余白に金銀泥・顔料で絵を添えたものなど、様々な装飾経の遺例が見られる。

平安時代の古記録(貴族の日記)を紐解くと、こうした写経を盛んに行っている様子がわかるが、その中で本品と同じような色紙に書写された『法華経』の例をいくつか見出すことが出来る。例えば、藤原道長の娘で後一条天皇の中宮となった藤原威子(999~1036)が、万寿元年(1024)10月に開いた仏事では、琉璃の仏器などとともに、筥に納められた「色紙法華経」が御帳の中に置かれている。この時、仏事に用いる経巻は別に用意されていることから、こうした色紙経は実用品ではなく、やはり特別な供養の品として用意されたのであろう。

なお、各巻の巻末に大山権現西明院へ施入した旨の奥書があることから、伯耆国(現在の鳥取県西部)の大山寺に伝来したことがわかる。

斎木 涼子(当館学芸部研究員)

◆西新館 名品展「珠玉の仏教美術」にて、2月21日から3月18日まで展示

開館日時(1月~3月)

■開館時間

午前9時30分~午後5時

〔開館時間延長日〕

- ・午後9時まで — 2月8日(水)~14日(火)
- ・午後7時まで — 1月28日(土)、2月3日(金)
3月12日(月)
- ・午後6時まで — 3月1日(木)~11日(日)
3月13日(火)・14日(水)

※いずれも入館は、閉館の30分前まで

■休館日

毎週月曜日(月曜日が祝日や振替休日当たる場合は、その翌火曜日が休館)、1月1日(日・祝)
※2月13日および3月5日・12日は、月曜日ですが開館します。

観覧料金

	一般	大学生
個人	500円	250円
団体	400円	200円

※団体は20名以上です
※高校生以下および18歳未満の方、満70歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料です
※2月3日(金)は無料観覧日で、すべての方が無料でご覧いただけます



〔交通案内〕近鉄奈良駅下車徒歩約15分、またはJR奈良駅・近鉄奈良駅から奈良交通「市内循環」バス「氷室神社・国立博物館」下車

※当館には駐車スペースがございませんので、最寄りの県営駐車場等(有料)をご利用ください。

 **奈良国立博物館**
Nara National Museum

〒630-8213 奈良市登大路町50(奈良公園内) ハローダイヤル 050-5542-8600 ホームページ(PC用) <http://www.narahaku.go.jp/> (携帯用) <http://www.narahaku.go.jp/mobile/>

『奈良国立博物館だより』は、1・4・7・10月に発行します。郵送をご希望の方は、何月号かを明記し、返信用封筒を同封して、当館の情報サービス室にお申し込みください。
※返信用封筒には宛名を明記し、長形3号の場合は90円切手を、角形2号の場合は120円切手を貼付してください。

